

かっぱの会報

1996年12月1日

Vol. 10

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町3-11-8
三島方 電 0423-91-2365

皆様のお陰で
10号記念号

かっぱの仲間 100名突破、会報 10号記念号 特別寄稿 椎名誠十 沢野ひとし



長良川河口堰建設に反対する活動に、二年程前までささやかながら関わっていました。結果は巨大な河口堰が作られ、アユ、サツキマスの遡上は確実に減少し、汽水域のシジミは全滅。大方の予想通り最悪の事態となり、川は死に絶えようとしています。これまで関わってきた人たちの絶望感は計り知れないものがあります。しかし「長良川の清流を守れ」という若者たちを中心とした、しなやかでかつ持続的なこの運動は、全国各地に燎原の火のごとく広がり、建設省の川づくり政策を変えさせるまでに到りました。既成の運動にはない彼らの柔軟な発想には、教えられるところがたくさんありました。「かっぱの会」も会員が一〇〇名を越え、通信も一〇号。正念場です。とはいえ今後とも肩肘はらずにやっばり楽しくやっています。と思います。新会員の椎名さん、沢野さんに素晴らしい原稿をいただきました。深謝です。(山茶花)

第三回北川クリーンアップ作戦に市民120名

去る11月17日（日）、気持ちのいい秋空の下、北川クリーンアップ作戦が、市民約120名の参加で展開されました。

北川の川そうじもこれで3回目を数え、毎回熱心な市民の手によって川がきれいになっていきます。今回は、前の2回に比べゴミも少なく、市民の愛情が周辺に伝わ

ってきたのかな、と感じました。中には「ゴミが少なくて物足りない」という声も聞きましたが、これは喜ぶべき悲鳴です。

また、「川の草を全て刈ってしまい、川底を平らにならし、もつときれいにすべきだ」という声もありましたが、これは考えものですね。パロン宮本も「そんなことを

しては、せっかく戻ってきた生き物が住めなくなってしまう・・・」とぼやいていました。

川底が真平らで、澄んだ水が平たく流れている姿は、人間にとって一見きれいに見えるかもしれませんが、本来の川の姿なのでしょうか。川の生き物にとっては余計な御世話なのかも知れません。



今年よりゴミが少なくなりました！



北川上流でもちんさんの声がか...



ガッパ特製の豚汁に香る汁をろう

去る11月9、10日に行われた市産業まつりに、かっぱの会も二度目の参加をいたしました。

外のブースでは、ハーブや古本を販売、市庁舎内の談話室コーナーでは、かっぱの会の活動、清流復活へ向けた方向性をパネル展示し、市民の皆さんに広くアピールをいたしました。

また10日の昼からは、談話室コーナーで「水とみどりあふれる街へ！」と題して、かっぱの会と、全生園緑化推進委員とのジョイントで、



全生園・平沢氏のお話し

ミニシンポジウムが開かれました。

全生園からは平沢保治氏が参加され、らい病に対する偏見、差別の中で、東村山市の緑化の推進に尽力してきたことや、今後も緑のまちづくりに寄与したい旨の発言があり、参加者の胸をうちました。

北川かっぱの会は、北川流域だけでなく、前川、空堀川を見据えながら、市内を流れる川の根本的浄化と、自然を生かした川づくりに向けた提言を発表。活発なシンポジウムとなりました。

第三回水とみどりの市民懇

11月14日の午後7時過ぎから、東村山市役所で4回目の市民懇談会が開かれました。かっぱの会など4つの市民団体、個人が参加し、市緑政課から「せせらぎの道」計画の説明を聞きました。

市では、廻田小学校北側斜面か

ら流れている湧水を整備し、北川へ流す工事を平成9年から10年度にかけて実施する予定とのこと。基本設計はこれからで、市民参加によって進めたいとの意向があるそうです。

市から説明を受けたあと、市民参加の方法などをめぐって意見交換をしました。その後、参加者から空堀川を自然を生かした川にしてほしいとの要望や、水と緑のボランティア募集についての提起がありました。

森のアトリエ開かる

10月6日（日）狭山公園の大陽広場で「森のアトリエ」が開催されました。リサイクルをテーマとして、秋の一日、野外広場で芸術家になる、というこの企画も今回で4回目を迎えるそうです。

廃材での木工教室や、空き缶を使った風鈴づくり、野外での演劇手で触れる彫刻、などなど。楽しみながら、環境について考える素敵な一日でした。

雑木林を残してと宮崎駿さんが三億円寄付

埼玉県所沢市と隣接する東村山市秋津町にある雑木林が、宅地開発計画で消滅するとの話が春ごろもち上がった。この林は約四千六百平方メートルの民有地で、東側には狭山湖を源流とする柳瀬川が流れる。イチリンソウ・ニリンソウ・カタクリなどの野草が群生する貴重な雑木林である。地元の人々に親しまれており、所在市在住のアニメ映画監督宮崎駿さんが「と

なりのトトロ」の構想を練った所だという。宅地化の話に対し、地の自治会や自然保護団体が「淵の森保全連絡協議会」を五月に結成し、宮崎さんが会長になって両市に対し買い取りを要請した。十月初旬、宮崎さんは両市に三億円を寄付し、市でも公有地化を検討すると報道された。緑の保全に向けた喜ばしい出来事であり、紹介させていただいた。

北川流域に四千年前の縄文遺跡が

縄文時代後期のものと思われる下宅部遺跡が、多摩湖町の市営住宅建設予定地に見つかり、先日、見学会が行われました。

遺跡からは、背後に控える狭山丘陵と、その前を流れる北川のもたらず自然の恵みを、素直に存分に受けた縄文人の豊かな暮らしぶりがうかがわれました。この地がふるくから人の住む地として、優れた環境であ

ることを改めて認識させられます。また、遺跡からは何本もの河道跡が発掘されており、昔は川が自由にその流れを変えて流れていた事も分かります。

川も人も自然の摂理に従い、おおらかに生きることが何よりであると思わせてくれる見学会でした。

動き出した柳瀬川流域の輪

以前から報告していましたが、柳瀬川流域（北川も柳瀬川流域です）の川づくり市民活動の輪が活発に動き出しています。

10月28日には、「柳瀬川流域川づくり懇談会」という名称で正式に発足。会則や基本事項を決め、活動が本格化してきました。

懇談会の活動は、柳瀬川流域の川を対象に、市民の情報交換や勉強会を開きながら、問題となってくる川の環境問題に積極的に提言



INFORMATION

●第3回地球環境基金環境NGOの集い(報告とシンポジウム)

日時/12月9日(月)10時~5時
場所/カンダパンセ7F大会議室
入場/無料

問合せ/☎03-3508-2651(安里)

●パント末吉バラエティショー

日時/12月19日(木)7時~
場所/なかの芸能小劇場
入場/1,000円

問合せ/☎0423-91-8687(末永)

●ムササビ観察会

日時/12月14日(土)
集合/ケーブルカー清滝駅PM3時
解散/PM8時半頃 高尾山口駅
申込/不要、雨天中止
問合せ/☎0426-68-1865

第4回水とみどりの市民懇

第4回「東村山市・水と緑の市民懇談会」では、水と緑に関する市民のボランティア活動を活発化しよう、という話題を中心に話合います。

例えば、市民による川のレンジャーや、雑木林の管理ボランティア制度等、夢はふくらみます。

懇談会に興味がある方は、ぜひ参加下さい。

◇第4回水と緑の市民懇談会

◇日時/12月12日(水)7時~

◇場所/市役所 ◇問合せ/93-5111(市緑政課 根建)

していく、というものです。当面は建設省荒川下流工事事務所に事務局を置き、支援を得てます。建設省も粋なはからいです。懇談会への入会は自由で、会の世話人に申し出れば誰でも入会できます。興味のある方は、かっぱの会の宮本(☎0425-16713346)まで。

●次回は12月12日(木)7時
場所:清瀬市市民センター

水と緑研究会でかっぱの会報告

「水と緑研究会」は、多摩地区の自然保護活動の交流拠点です。ここで今、北多摩地区の市民活動について情報交換し、互いに学ぼうという企画が催されています。10月24日(木)、北多摩の自然保護団体の1つとして、かっぱの会も活動報告をしました。北山公園問題から川づくり活動

への広がり等、他の市民団体の方に興味深く聞いてもらいました。その中で気づいたのですが、かっぱの会のつながりは、どうも他の市民団体とは違うようです。その「楽しい活動」と「終わった後の一杯」、が原動力になっていると再認識。かっぱの会ならではの魅力と痛感しました。

かっぱの会の新人会員です。ヨロシク。 椎名 誠（作家）

ぼくは隣の小平市に住んでいます。隣からコンニチワ、という分けです。もう二十八年目になりますから自分の人生の中では一番長く住んでいる土地ということになります。

東村山市と同じように都会に勤めている人と、古くから住んでいる人が混然としていて、いい風土でもあるけれど、モンダイもいろいろある、というところ、です。

ぼくには二人の子供がいて、お姉さんと弟です。二人ともこの土地の空を眺め、この土地の風に吹かれて大きくなりました。今はどちらも成人してアメリカに住んでいます。時おり日本に帰ってきてきた折などあの雑木林はどうしてしまったの、あの原っぱはどこにい

ってしまったの、というようなムカシ話になります。かれらの思い出の中の風景はとうに失われてしまっていて、それは同時にぼくの今のなつかしい貴重な思い出の風景でもありますから、そんな話の出るたびに親子してムナシイ気分になります。



国や経済が発展していく、というのは大切なことなのでしょうが、もう少し生活の周辺の風景や気持ちのやすらぎに留意した成長発展のしかたもあつたのではなかつたか、と思うのです。

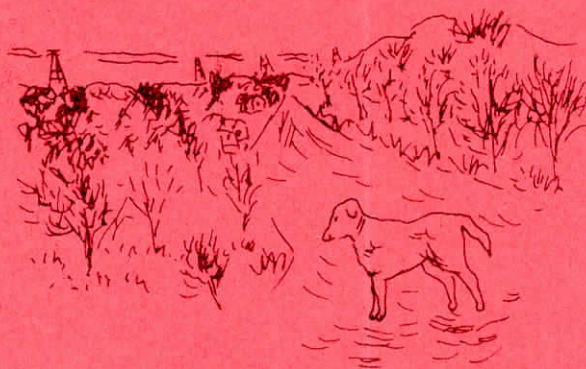
東村山のこのかっぱの会は、ほんの古い友人、三島悟さんらが、少し冷静に、しかし思いの底をあつくして、そういつたことの周辺を考える、という主旨で発足したそうですが、素晴らしいことです。わが町にもそういうグループがあつたらいいな、とうらやましい思いますが、とりあえず、かっぱの会がもっと活発に行動し発言し、大がっぱになっていくように、と思います。ぼくも会員になりましたのでヨロシク。

七国山の野鳥 沢野ひとし（イラストレーター）

町田市の郊外に七国山という高い丘がある。樹々の葉がおちて木枯しが吹くようになると、バードウォッチングの季節になる。私は休日というと首から双眼鏡を下げ、犬をつれて散歩にでかける。雑木林にはコゲラ、エナガ、カマガラ、メジロ、シジュウカラ、オナガ、アカモズと群れをなして飛んでいる。急速に姿を消す雑木林が七国山にはまだ残っている。

カワセミを見てから野鳥にとりつかれる人が多いが、私もそんな一人だ。秋の早朝、多摩川の上流で華麗なカワセミの姿を見て虜になった。背中から尾にかけてのコバルトブルーは強烈な印象が残る。カワセミは魚やザリガニなどの池や川の中に住む生きものしか食べ

ないという。七国山のまわりにも小川やため池があるが、まだカワセミと出会っていない。きっと町のオアシス、七国山にもカワセミがいつかやってくるだろう。近くに森や川があるかぎりあきらめない。野鳥のいない林はゴルフ場だけである。私も少しは自然を残す側に動きはじめて



かっぱの広場

心のふるさと東村山

大宮に転居して一年が経ち、あらためて北山公園も含めた東村山の四季の変化に富む狭山丘陵、自然の豊かさに感動しています。

若い頃はあまり感じませんでした。が、身近な自然がどんなに大切なものか、四十歳を過ぎた今、つくづく実感しています。

最近私は心身の健康のため、意識的に体を動かそうと歩き回っています。東村山のように歩いて行ける身近な所に、八国山、北山公園、北川みたいな豊かな自然環境はありません。それでもわずかな林や、竹林、田んぼの畦道、花ばかりの公園、三面ぼりの小川、農家の庭先のある風景などを探して観察しています。

心のふるさととなった東村山ですが、かっぱの会に参加して、北

山の自然と、友達に会えるので楽しみにしています。

山下文恵(天宮市在住)



相互理解から信頼関係へ よりよきパートナーシップ を求めて

いまから3、4年前、三島さんたちと会う機会があって、当時はあの有名な(今だから言えるが)北山公園の「再生計画」でとにかく市民も行政も大変な苦労をしていた時でした。当然、当時緑政課ではなかった私でも、その話題はいつも耳にし、気になっていたことを覚えています。その中で、「行政

も市民も北山公園をよくしたいと思ってやっているのに、なぜこういう構図になってしまふのか。よくしたいと思ってることだから、お互い歩み寄ることはできると思う。」という三島さんの言葉は印象に残っていました。

そして、昨年緑政課に移動で配属され、あの時お互い苦労した市川緑政課長(当時)と三島さんが談笑されているのを見たときには、ちょっとした驚きと同時にあの時の三島さんの言葉を思い出して納得したものでした。きっと、お互いが苦しい中で相手の一生懸命さを認め合い、理解し合ったのだと思います。こうした信頼関係の土台があって三島さんらが主宰する「北川かっぱの会」と市とで、去年から地域の皆さんに呼びかけて始まった北川のクリーンアップ作戦。みんなで気持ちのよい汗をかきながら川に対する共通の価値観を持ちつつあるように感じていますし、ぜひ継続した活動にしていきたい

です。

最後に、相互理解から信頼関係へ、協働から価値観の共有化へと、市民と行政の関係を実践を通して感じてきました。さて、次はどう展開するか……、楽しみです。よりよきパートナーシップを築く上でも、気張らずにクリリーンアップ作戦を続けましょう。

根建 明(市役所緑政課)

源流は、農業用の溜池

「あっ、カワセミがいる！」

「どこ、どこ……」

「あの枝のところ……」

双眼鏡を借りて覗いたが、鳥の観察に不慣れた私には、見つけれなかった。代りに、オニヤンマが悠々と左から右へ、右から左へ飛んでいるのが見えた。

ここは奈良橋川の源流の一つ、武蔵村山市の赤坂池である。池の水は、中藤田んぼ(今は埋め立てられて住宅地)の灌漑用水として使われていた。



空堀川流域に市民の会！広がる川のネット

東村山の空堀川流域で、「空堀川に清流を取り戻す会」、通称「河太郎」(ガタロウ)という会を発足させました。会の目的は空堀川流域の自然保護、多自然型川づくりによる河川環境の改善に寄与出来たらと考えています。魚が帰り水と緑豊かな清流を取り戻し、地域住民が川と生き物と共に楽しめる生活ができる場にしたい、これが

池の周囲には、有刺鉄線が張りめぐらされている。このことに象徴されるように、行政の水辺の管理は、人を遠ざけることしか考えていない。

北川でのカヌー遊びには、それとは百八十度違う発想があって楽しい。子どもたちの歓声は、川喜びの声と聞いた。川が汚れ、死にかけてしたのは、人が川を疎外したからにはほかならない。

秋山数馬(東大和市在住)

当面の目標です。会の発足にあたり、先輩格の「北川かっぱの会」の方から多くのご教示を頂きました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。私達の会は出来たばかりです。多くの方の参加を希望します。ご連絡ください。

「空堀川に清流を取り戻す会」

東村山市美住町1-13-14 小林寛治
TEL 0423-91-4003

水がき君②
作. とんちかん



パロン宮本の川の辛口講座「第7回」

多自然型川づくりは川を救えるか? (その5)

川そうじで、「川底を平らにしました。本当にそうでしょうか? 川は本来右に左に蛇行し、淵(ふち)という深いや、瀬(せ)という浅い流れ、洲(す)という陸地には草原や河原をつくります。川の生き物は、これら小さな地形を利用して生きてます。地形が多様なら生き物も多様で豊かです。瀬は付着藻類(コケ)が多く魚のエサ場となり、淵は休息や睡眠避難の場で、水生昆虫を食す魚も

集います。洲は鳥が舞い降り、昆虫等もいます。また、淵は細かな濁りを沈澱し、瀬は水に酸素を取り込み、水を浄化します。一見淀んで汚く見える淵も、生き物には素敵な場所なのです。北川には昔、2、3桁の深い淵があり、魚が多く採れたそうです。今は川が直線になり、瀬や淵が消えたり、小さくなっています。北川を再び生き物豊かな川に戻すには、川の地形を多様にする必要があります。(つづく)

木の葉流せば「三」

菅野 結花

ススキやアシは地下茎に命をたくして枯れた。その姿は寒々とした風に吹かれながらも明るい黄色味で、川辺や土手を包みこんでは、ふとこころに鳩やネズミやキジといった小動物を想わせる日だまりを提供する。ノバラの赤い実、ニワトコの春を待ちきれないかのような冬芽に目を止めながら、あんなに冬の川辺の持つイメージが想像違いであるのに気付く。釣りをする人やスケッチを楽しむ人に混じって座れば、渡り鳥達が陽気に水にもぐる姿に心がとまる。冬の川景色には余計なものが無い。都会の中ではなかなか出合えない風景なのである。

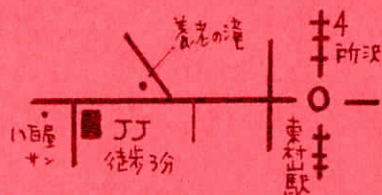
BLUES BAR Juke Joint

あなたの胸のブルースを
 ちょちょくすぐる粋な店
 イェーイ! 気軽に遊びに
 来てください

西武沿線唯一のブルースバー
 月2回(金or土)ブルースライ
 ブショー、毎月最終金曜日ブル
 スジャムセッション

OPEN/8:30 pm OFF/日・祝日
 ビール、ハホン 500円、フード 300円～

- ***ライブスケジュール & 出演 バンド***
- 12/6 (金) 秘ル・ハトルズ (from大阪)
 - 12/7 (土) 博多三筋大将 (from
福岡) with TAD三浦
 - 12/14 (土) JJハウスバンドと愉快な仲間
達Eイトルズ/サウス 加藤有
 - 12/21 (土) 年忘れJJシェイクハンズ、クレイ
- 清水 & ハリケーンズ/テレルツ



東村山市野口町1-15-6
 ☎0423-94-4548 (ジューク・ジョイント)

今月の一冊

●『ひとりぼっちの叛乱』

豊田和弘著・山と溪谷社
 上越国境・巻機山のスキー場開
 発計画に対し、村八分状態になっ
 ても反対を貫きふるさとの自然を
 守ったとうちゃん。新潟県塩沢町
 で民宿「雪空」を経営する小野塚忠
 男さんの一代奮戦記である。
 この本を読んだらあなたも雲天
 に泊まって一杯やりたくなるよ。

今月の一曲

●「クリスマス・キャロル集」ムジ
 カ・サクラ POCG1602

混声合唱の重厚かつ優美なアン
 サンブル。「樅の木」(柊と葛)など、
 欧州の古い聖歌には、永遠の生命
 を称える常緑樹信仰にルーツのあ
 るものがたくさん。雪深い森や、
 キャンドルの暖かい光を思わせる
 荘厳な歌声に包まれて、心清らか
 にイヴの夜を迎えてください。

求む! 魔女の宅急便

かっぱ通信は現在隔月刊で、偶
 数月の1日に発行しております。
 皆さんに少しでも読んでいただくこ
 うと毎回二千部から二千五百部を
 各公民館、図書館や北川流域を中
 心に配達しています。配布を少し
 でもお手伝いしてくださる方、か
 っぱの会魔女の宅急便係までご連
 絡下さい。配達法は、ほうき、徒
 歩、チャリ、車、なんでもOK。

かっぱの会会員募集中

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全と、その前を流れるかつての水ガキの生息地北川の清流復活という、ふたつの大きな夢をもって作られた「北川かっぱの会」も会員数がとうとう100名を数えるにいたりました。

自然が大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)をひろく募集いたします。のんびり、楽しく、マジメにがモットーの会です。気軽にご連絡してみてください。

●会費：年間3000円。かわいらしい会員証とかっぱ通信(隔月刊)をお送りします。

●問い合わせ/申し込み先：〒189 東村山市野口町3-11-8 三島方
TEL0423-91-2365

●会費振込先：

●郵便振替 00120-6-104476
(加入者名 北川かっぱの会)

●会員更新手続きのおねがい
かっぱの会員の更新時期がやってまいりました。更新会員のみなさまには別紙振替用紙を同封いたしましたのでヨロシクお願いいたします。

●編集後記

過ぎゆく秋を借し、今年の活動を振り返る。楽しみ倍増の今年のXマスパーティーをお見逃しなく。

「北川かっぱの会」 '96年Xマスパーティ!

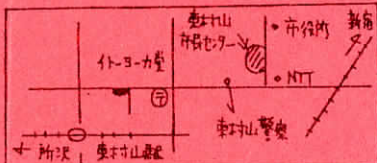
今年のメインは諸国空想料理!
お腹をすかして皆んなおいで!

*

日時：12月14日(土) 18時～21時

場所：東村山市市民センター2F

TEL0423-94-7272



会費：大人3000円、中高生1000円
小学生以下無料

だし物：J J ブルースバンド
湯村ばんど
MRS. 浜田のマジックショー
パント末吉マイムショー
Mad渡辺とあきれたか
っぱボーイズ、その他

食べ物：トムヤムクンスープ/タ
ンドリチキン/ロースト
チキン/カレー各種/パ
スタ各種/サラダ各種/
持込み大歓迎

飲物：たくさん、たくさん

参加資格：なし。誰でもOK

申し込み、問い合わせ先=北川か
っぱの会(三島) TEL0423-91-2365